

「二度とない一日」～4か月の感謝と夏に向けて～

令和7年7月24日

1 学期。保護者、教職員、生徒の皆さんありがとうございました。

1学期始業式で、3つのことについて、話をさせていただきました。「花」と「色」と「縁」。

「花」は、自分の見どころを知っているわけではなく、それぞれが、自分の時期に、自分の色で、自分のために咲いているだけであること。そして、「色」は、教育でも特色という言葉で語られるが特色とは、特に目立つという意味で、他と比べて、特に優れているところ、つまり強みに気が付くことではないかと思うこと。「縁」は、初めてこの学校に縁をいただいて赴任したが、私も、教職員も、生徒も、その偶然の出会いを生かすか殺すかの鍵は、相手にあるのではなく、自分の中にあること。これらは、すべて、そこに携わってくださる「人」がいないとできないこと。

まずは、保護者の皆さまが日々、生徒たちを送り出してくださっていることに感謝します。学校で教育が、安心して行えているのは、保護者の皆さまが学校を信じて、預けてくださっているからであると思っていますし、私は決して、当たり前であると思っていません。生徒が少なくとも(R8)3月に、ひょっとしたら何年か先かかもしれませんが、富士宮北高校にいて良かったと思えるような学校にしたいと思っています。

そして、生徒、教職員の皆さんありがとうございました。学校は、安全・安心と言いながら、事故等は常に隣り合わせです。今年4月には、奈良県で落雷があり、練習中のサッカー部員が被害にあいました。5月には、東京都で、理科実験中に化学薬品の吸引が疑われる事故がありましたし、6月には、プール指導中に、溺れてしまうという事故もありました。本校でも、自転車事故や、盗撮事犯などが起こりました。それでも、**最も大切な「命」を、まずは守ることができたことに、皆さんに心から感謝しています。**

富士宮北高校の中央道は、とても良い道です。時々歩いていると、前から来た生徒が遠くから挨拶してくれる時もあるし、直前でペコりと会釈してくれる時もあります。また、声を出そうか迷っている生徒とすれ違う時もあります。私は、中央道では、それはすべて正解だと思います。後ろ姿もそうです。胸を張るように歩く生徒もいれば、耳にはイヤホン入れて音楽聴きながら鼻歌で行き交う生徒もいて、なんとなく俯きながら歩く生徒もいる。時々、小石を蹴っ飛ばしている生徒もいる。私もそうですが、毎日、同じ気持ちで朝を迎えたり、学校から帰れたりするわけではありません。この中央道は、それを一日のはじめと終わりに、一旦リセットできる道のような気がします。

夏休みに入ります。学校から少し開放され、一人一人が自分の大切な時間として過ごすことになります。どんな生活も自分のものです。**安全・安心に、二度とない一日を、自らの責任で大切に送ってください。**



【ちょこっと余白 『TODAY』】



紹介してもらいました。家族に会いたくなる1冊。

マイコーデウィーク (MCW) から得たもの

前通信に続き、マイコーデウィーク (MCW) について。

終業式を迎えます。7月2日から始めたマイコーデウィーク (MCW) について、今後、生徒、教員等にアンケートを取らせていただきます。この期間、考えたことや学んだことがあったのではないかと思います。

『だれが校則を決めるのか 民主主義と学校』岩波書店 内田良・山本宏樹編 (2022) の中で、日本大学の末富芳教授は、学校という「公共圏」は、生徒・教員によって形成される「内側の公共圏」と、保護者・地域等のステークホルダーも含む「外側の公共圏」によって形成される (p75) と述べています。そして、ある校則が厳しいと言われた Y 高校での取組を示し、それまで、「よく挨拶はできる」「落ち着いている」が、「自分で判断したり」「経験のないチャレンジをしたり」しないとされていた生徒が、ルールメイキングを通して、「できる」という経験を積み重ね、「皆が幸せになるルールを作る」という運動に発展していったと言います。

今回、先生のアイデアで行った取組、富士宮北高校として、**生徒は「できる」経験を得た**としたら、とても素晴らしく、学校の可能性がさらに広がったと思っています。

富士宮市内 4 高校で学校間連携を始めます

以下のデータを見ると、学校再編はもう目の前です。この富士宮は、地域の特色を理解した教職員、生徒、地域の方が **主体的に関わった本来の「つながり」を大切にしたい学校教育の再構築** を目指した方が良いと感じています。そして、それは、この富士宮地区 4 校の校長も同様の思いでした。そのために、まずは、**伝統と、専門性の特色を持った富士宮 4 校が協働していくことを目的として、学校間の垣根をできるだけ低くしてはどうか**、また、学校の在り方は、将来に向かってできることから 4 校の教職員が協力して作り上げていってはどうかと考えました。

今回、県教委にも相談し、学校間連携協定を結び、富士宮 4 校の物理的、心理的近接性を活かすことができる体制を作り、つながりをいかして、4 校の強みをさらに作り上げていくこととなりました。この協定は、**協定以外は「真っ白」**です。ねらいは、この連携で生徒の選択肢を減らさず、各校の専門性をいかした学校群とすることです。

まずは、各校が抱える課題、専門性を活かせる体制を考え、部活動、合同行事や合同探究そして特別講座の共有、そして、地域とのつながり強化です。

この具体的な内容は **まだこれから**です。**4 校の特色をさらに磨きながら**、4 校で協力できることから協力して盛り上げていく。4 校が強みである特色をしっかり打ち出すことが重要となります。そのためには、富士宮北はどんな生徒を社会に送り出すのか、明確にすることが大切です。皆さんのお力をお貸しください。

1 富士地区中学校 (一部私立含む) 卒業生の推計 (R6. 5. 1)

37.5% 生徒数減少

180 人減 500 人減 580 人減

中学校卒業年月	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	R6.3	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3	R14.3	R15.3	R16.3	R17.3	R18.3	R19.3	R20.3	R21.3
学 年 等	R2	R3	高3	高2	高1	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
富 士 市	2,293	2,333	2,109	2,227	2,170	2,119	2,092	2,056	2,091	2,111	2,002	2,033	1,876	1,897	1,803	1,701	1,607	1,656	1,550	1,448
富 士 宮 市	1,263	1,137	1,162	1,172	1,132	1,160	1,095	1,083	1,141	1,066	983	984	973	893	874	820	737	682	711	651
星 陵	65	72	65	61	72	68	69	73												
富 士 見	14	21	20	16	7	14	16	0												
計	3,635	3,563	3,356	3,476	3,381	3,361	3,272	3,212	3,232	3,177	2,985	3,017	2,849	2,790	2,677	2,521	2,344	2,338	2,261	2,099
学区内への進学者	1,972	1,803	1,645	1,681	1,640	1,633	1,587	1,563	1,610	1,582	1,487	1,503	1,419	1,390	1,333	1,256	1,167	1,164	1,126	1,045
学区外からの入学者	124	77	97	88	87	88	87	85	88	86	81	82	77	76	76	72	68	63	63	59
合計	2,096	1,880	1,742	1,769	1,727	1,721	1,674	1,649	1,697	1,669	1,568	1,585	1,496	1,465	1,410	1,328	1,235	1,227	1,189	1,105

※ 1 歳から 6 歳の人数は「静岡県年齢人口推計 (2024 年 12 月 23 日公表)」より